鵜住居地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成29年３月26日（日）14：30～16：30
場所：釜石市鵜住居町
鵜住居地区生活応援センター

次　第

1．挨拶

2．本日の主旨とこれまでの振り返り

3．まちなか再生計画について

①商業施設（共同店舗）について

②公園・市有地の土地利用について

③震災メモリアルパークについて

④観光交流拠点施設について

⑤市民体育館について

⑥鵜住居小学校・釜石東中学校について

4．意見交換

１．挨拶

2．　本日の主旨とこれまでの振り返り

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。
今回のまちづくり協議会では、

・まちなか再生計画について
① 商業施設（共同店舗）について（商工労政課）
② 公園・市有地の土地利用について（都市整備推進室）
③ 震災メモリアルパークについて（総合政策課）
④ 観光交流拠点施設について（観光交流課）
⑤ 市民体育館について（スポーツ推進課）
⑥ 鵜住居小学校・釜石東中学校について（教育委員会事務局総務課）

説明をさせていただきます。

鵜住居地区では、これまでに、復興まちづくり協議会・地権者連絡会を11回開催させていただいており、その中での主だった項目をご説明します。

これまでの経緯①

○平成25年４月19日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・国・県事業の進捗報告
・鵜住居地区の土地利用計画　ほか

○平成25年７月６日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・鵜住居駅前津波復興拠点事業について
・下水道事業計画について
・住宅再建支援制度について　ほか

○平成25年９月28日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・土地区画整理事業スケジュールの見直しについて
・土地区画整理事業の進捗について　ほか

○平成25年11月３日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・復興事業の進捗状況について
・公共施設の配置計画について　ほか

これまでの経緯②

○平成25年12月14日、16日、17日、18日、19日、21日

・住宅再建意向調査の結果について
・鵜住居のまちづくりについて　ほか

○平成26年４月12日、13日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・事業のスケジュールについて
・市北部の公共交通に関する検討案について　ほか

○平成26年８月10日

・ラグビーワールドカップ開催都市立候補について

○平成27年３月28日、29日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・工事進捗状況及びスケジュールについて
・宅地整備基準（案）について
・駅前施設整備について　　ほか

これまでの経緯③

○平成27年５月31日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・新釜石市民体育館の位置について
・鵜住居地区の復興公営住宅、集会施設平面計画案について
・鵜住居駅周辺の整備について

○平成28年3月27日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・工事進捗状況及びスケジュールについて
　①鵜住居地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
　②ブロックごとの宅地引渡しスケジュールについて
　③造成工事から住宅建築までの流れについて
　④住宅再建に係る補助制度について
　⑤下水道受益者負担金及び下水道使用料について
　⑥鵜住居地区の復興公営住宅について
　⑦鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について
・お知らせ（盛岡財務事務所）

これまでの経緯④

○平成28年9月24日　復興まちづくり協議会・地権者連絡会

・工事進捗状況及びスケジュールについて
　①鵜住居地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
　②宅地引渡しスケジュールについて
・宅地引渡し可能時期のお知らせについて
・宅地品質の考え方について
・土地区画整理事業の換地処分に向けたスケジュール（案）について
・町界、町名の変更と住居表示について
・住宅再建に係る補助制度について
・津波避難環境づくりに関する取組みについて
・鵜住居川水門・片岸海岸防潮堤について

３．　まちなか再生計画について

　これまで、復興まちづくりを進めるにおいては、各種の事業ごとに計画を立案し、整備を進めてまいりました。
　一方で、より高い視点に立ち、まち全体を俯瞰しながら整備方針を決定し、将来を見据えた復興まちづくりを行う必要が生じています。
　よって今後、各種土地利用計画や、公共施設・民間商業施設等の整備・配置計画を総合する上位の計画として、鵜住居地区の「まちなか再生計画」を策定し、個別の計画や整備は引き続き進めながらも、最適な施設整備や配置を目指し、よりよい鵜住居地区の復興まちづくりに努めてまいります。

〔まちなか再生計画の構成〕

- ◇再生の基本方針・区域設定
- ◇土地利用、公共施設の配置計画
- ◇商圏の現状分析、今後の動向
- ◇自動車・歩行者導線計画
- ◇テナント配置計画
- ◇基本計画図、概算見積
- ◇まちの賑わい再生・強化の方策
- ◇事業主体及び管理運営スキーム検討　など

〔主なスケジュール（予定）〕

平成29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計画検討		→	→	→	→	→	→	→	
認定申請									→

３.-①　商業施設（共同店舗）について

◇鵜住居地区の市街地再生にあたり、市民生活を支える商業機能の回復が不可欠
◇被災商業者の再建先を確保し、持続性の高い事業環境を提供するため、国の補助金（津波立地補助金）を活用した共同店舗を整備予定

〔商業施設の想定〕

◇商業施設　　敷地　約3,500㎡
　　　　　　　建物　約1,200㎡

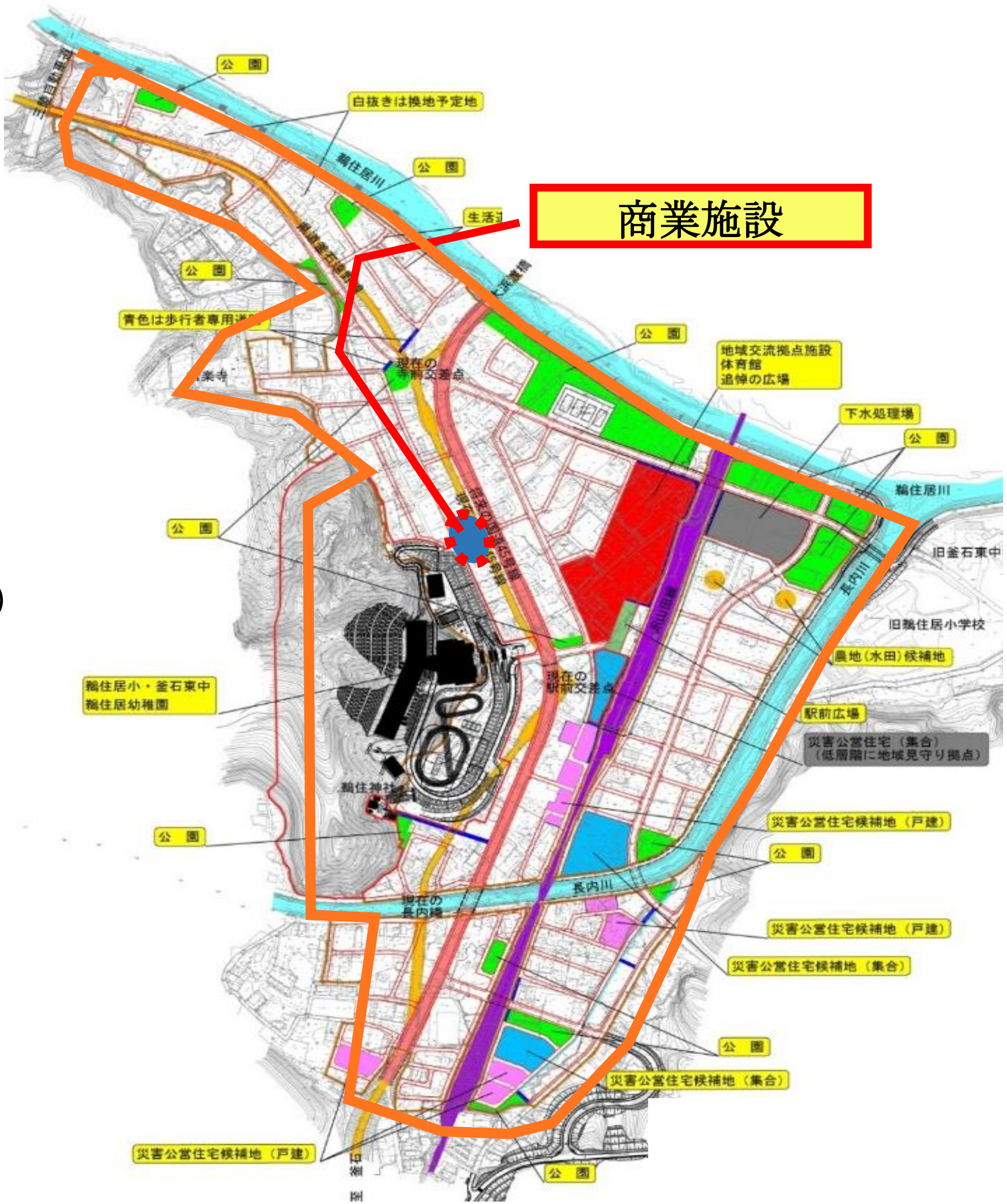
◇店舗構成　　スーパー＋商店5店舗程度
　　　　　　　（飲食、小売・サービス）
　　　　　　　※入居者は公募により決定

〔津波立地補助金の概要〕

◇補助金名
　津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金
（商業施設等復興整備補助事業：民間商業施設整備型）

◇補助率
　①施設整備
　・被災事業者入居分　　3/4補助
　・非被災事業者入居分　2/3補助（大企業1/2）
　②設備の復旧費
　・被災事業者のみ　　　3/4補助
　※上限5億円

◇実施時期
・計画認定後、事業主体（まちづくり会社想定）が津波立地補助金を申請
・平成30年度末までの施設整備を見込む



〔再建意向調査Ｈ29.1末時点〕

◇仮設施設の状況

・市内13箇所　209区画

・入居事業者　173事業者（うち166事業者が調査対象）

・個別面談、契約更新時聞き取り、会議所巡回指導などから集計

区分	事業者数	地区別		
		鵜住居	東部	その他
自力再建希望	78	36	31	11
テナント再建希望	52	6	42	4
未定	16	3	13	0
廃業予定	20	4	12	4
計	166	49	98	19

〔鵜住居地区の再建支援策〕

◇上記のうち２７事業者はグループ補助金採択済み

◇そのほか全壊補助金（1/2：10,000千円上限）、再建支援補助金（1/2：1,000千円上限）などで再建を支援

３.-②　公園・市有地の土地利用について

公園　　市有地

◆公園

公園・緑地面積：34,323㎡

・具体的な利用計画については、今後、地域の皆様の意見を取り入れながら整備を検討

◆市有地

・市の従前の土地
- 12地割44番11（駐在所）
- 13地割5番18、5番33（生活道路の一部）
- 14地割2番3（水道施設、ポンプ場）
- 16地割39番2、41番16（鵜住居保育園）

・市の仮換地の土地（集約換地）
- 30街区①②　仮換地面積：3,875㎡

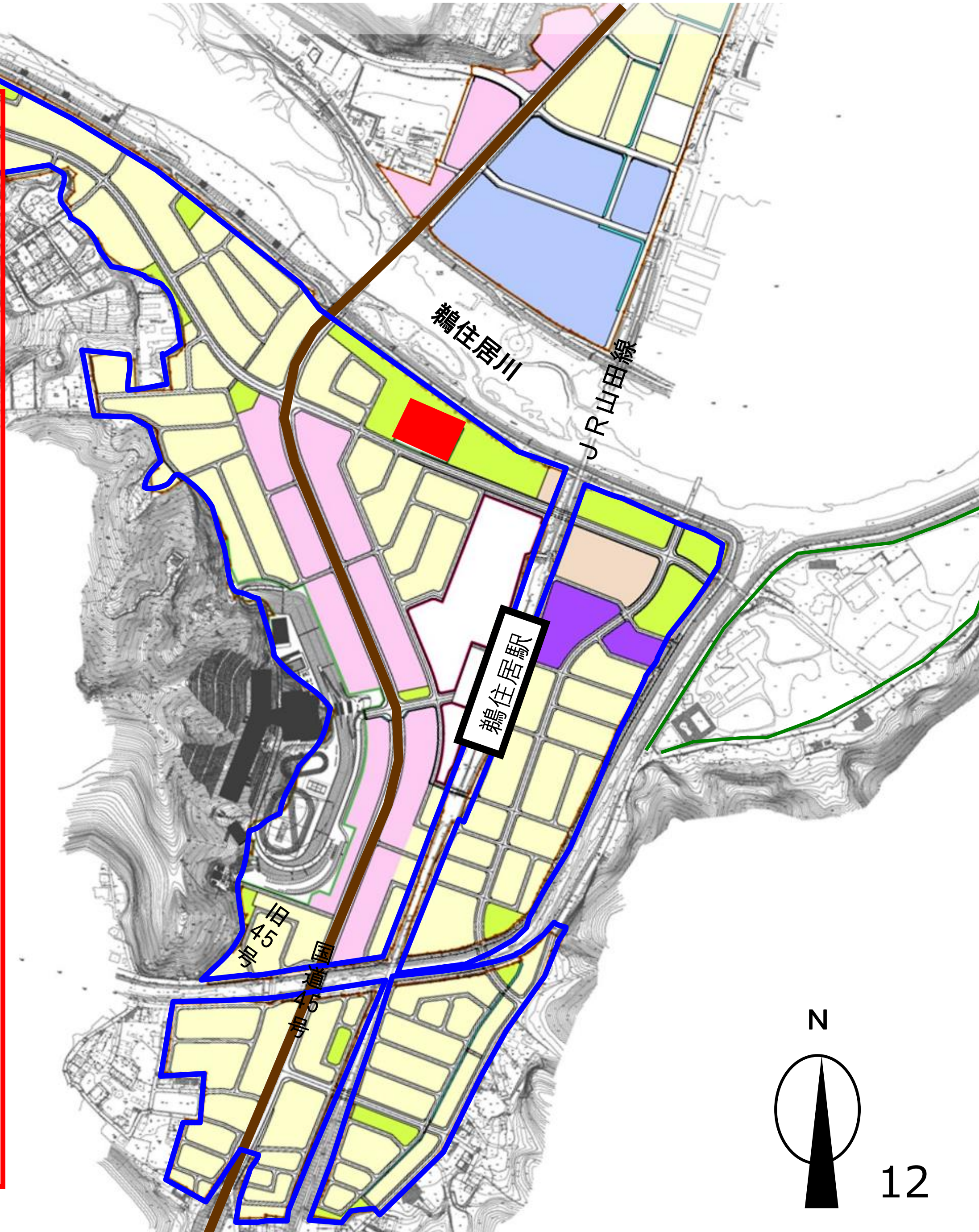
・テニスコートの整備について要望があり、市有地部分（右図参照）への整備を検討してきた経過がある。

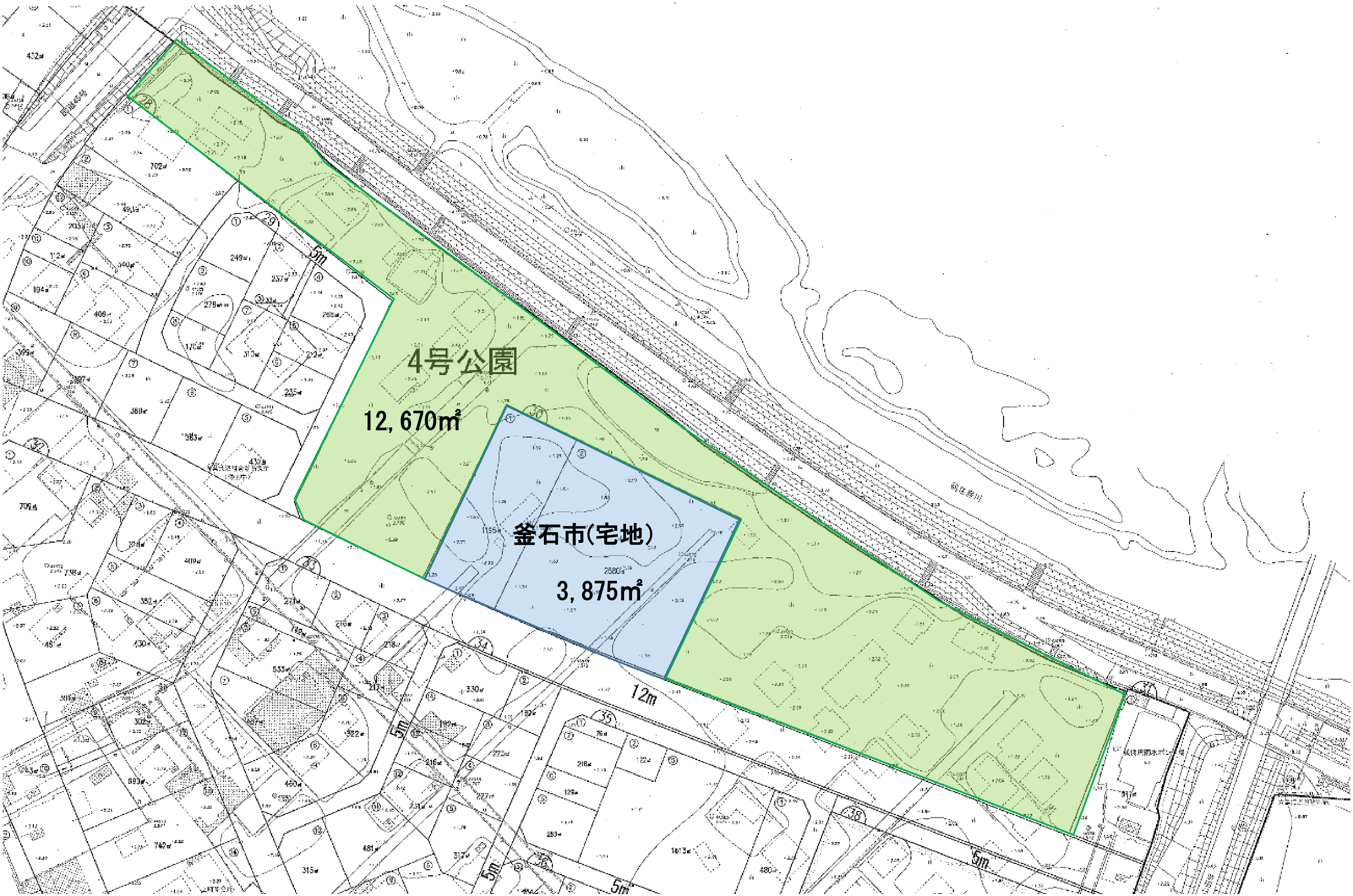
↓

・鵜住居地域の振興に資する土地利用の必要性が生じた。

↓

・今般、<u>公園緑地の一部へのテニスコートの整備</u>及び、<u>地域活性化に寄与する市有地の利用</u>を行いたい。




4号公園
12,670㎡
釜石市(宅地)
3,875㎡
12m
5m

市有地部分の土地利用の進め方について

- 市有地である本エリアは、地域活性化に資する土地利用を行うため、民間から企画提案を募り、有効に活用して行くこととします。
- 提案の受付は、平成29年３月下旬～４月上旬を目途に実施します。
- その際、市HPや広報で周知します。
- 平成29年4月下旬を目途に、鵜住居地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催し、土地利用を決定します。

3.-③ 震災メモリアルパークについて

震災メモリアルパーク

　東日本大震災犠牲者を追悼し、震災の経験・記憶・教訓を後世に伝え、防災意識・防災学習を継承、発信するための施設です。

●整備までの経緯

平成26年３月　基本構想策定
平成27年７月　基本計画策定
平成30年度　　供用開始予定

●整備の概要

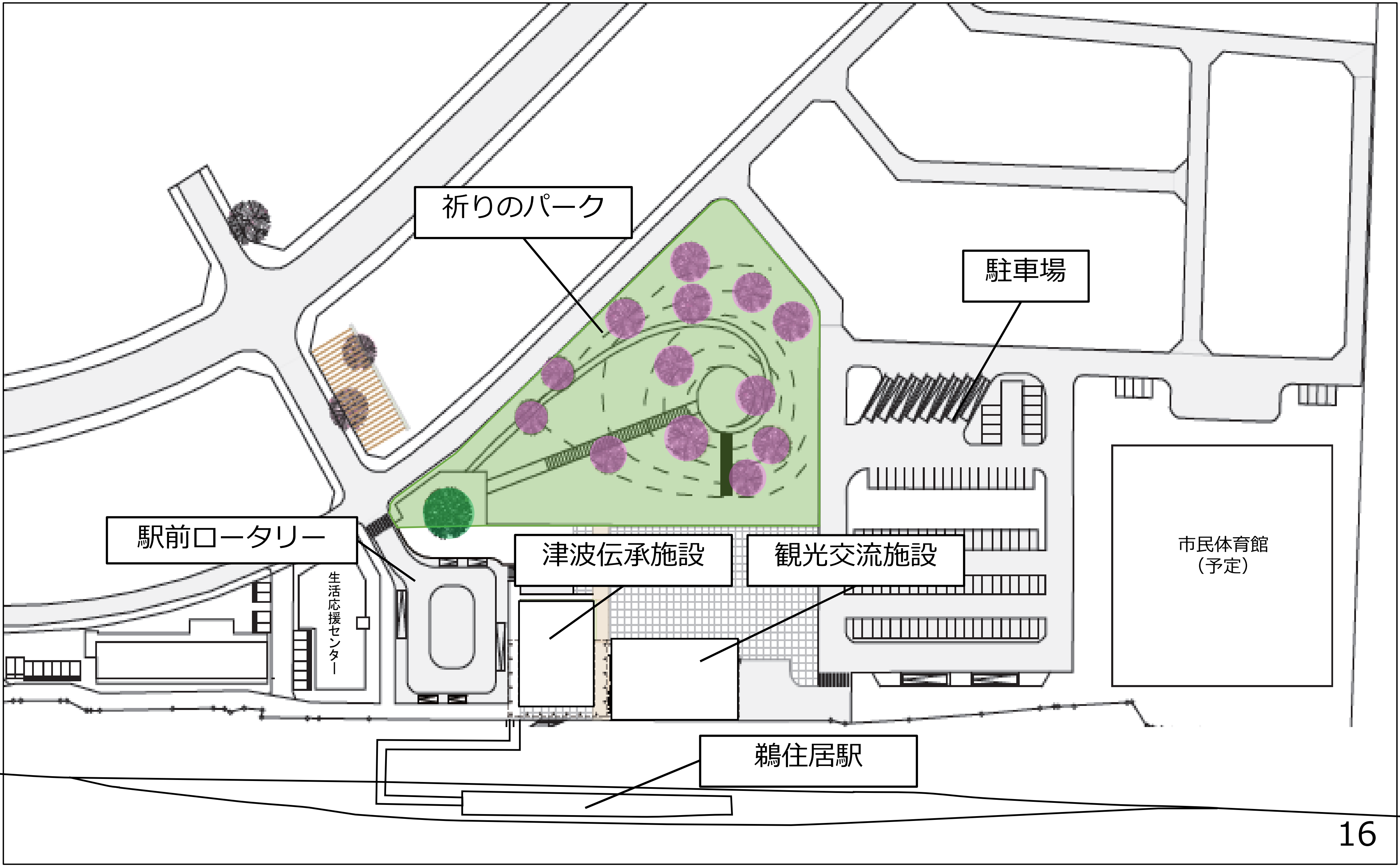
「祈りのパーク」（約4,500㎡）

・鵜住居駅前の鵜住居地区防災センター跡地を含む位置に整備します。
・５ｍ盛土し、津波高を表示します。
・慰霊碑等には東日本大震災で亡くなられた市民の名前を記します。
・敷地には植栽を施します。

「津波伝承施設」（約360㎡）

・防災学習施設として整備し、震災の記憶と経験を継承します。
・鵜住居での出来事を物語る展示を行います。
・施設は、映像室、展示室、エントランス、事務室から構成されます。

鵜住居地区駅前整備イメージ図



3.-④　観光交流拠点施設について

鵜住居駅前　観光交流拠点施設整備事業

施設整備計画（案）

鵜住居駅前に整備される津波復興拠点整備事業（鵜住居地区）と合わせ産直・物販、休憩、飲食、24Ｈ開放のトイレ機能を有する「観光交流拠点施設」を整備します。

施設の概要

1．床面積	約470㎡
2．内　容	①産直（水産物）、物販 ②飲食・休憩 ③観光・交通情報案内 ④24Ｈ開放トイレ

施設整備のイメージ案

◆山と海の結節点である当該地区に、復興推進を目的として観光振興と地域住民の交流を目的とした拠点施設を整備します。

［地場産品直売所・物産：約146㎡］

・東部漁協と連携し、地域で水揚げされた魚を中心とした海産物（鮮魚・手づくり加工品）を販売（地域の生活を支える台所）
・地場産品を活用し、地域ブランドとなる加工品を開発・販売（釜石ファンづくりに寄与）

［飲食・休憩：約83㎡］

・地域の特長を活かしたローカル色豊かな漁家料理、農家料理を中心にメニューを構成し、地元食材にこだわった料理を提供
・和山のそばを中心とした麺類の提供
・鵜住居駅の待合室としても利用

［観光・情報案内：約30㎡］

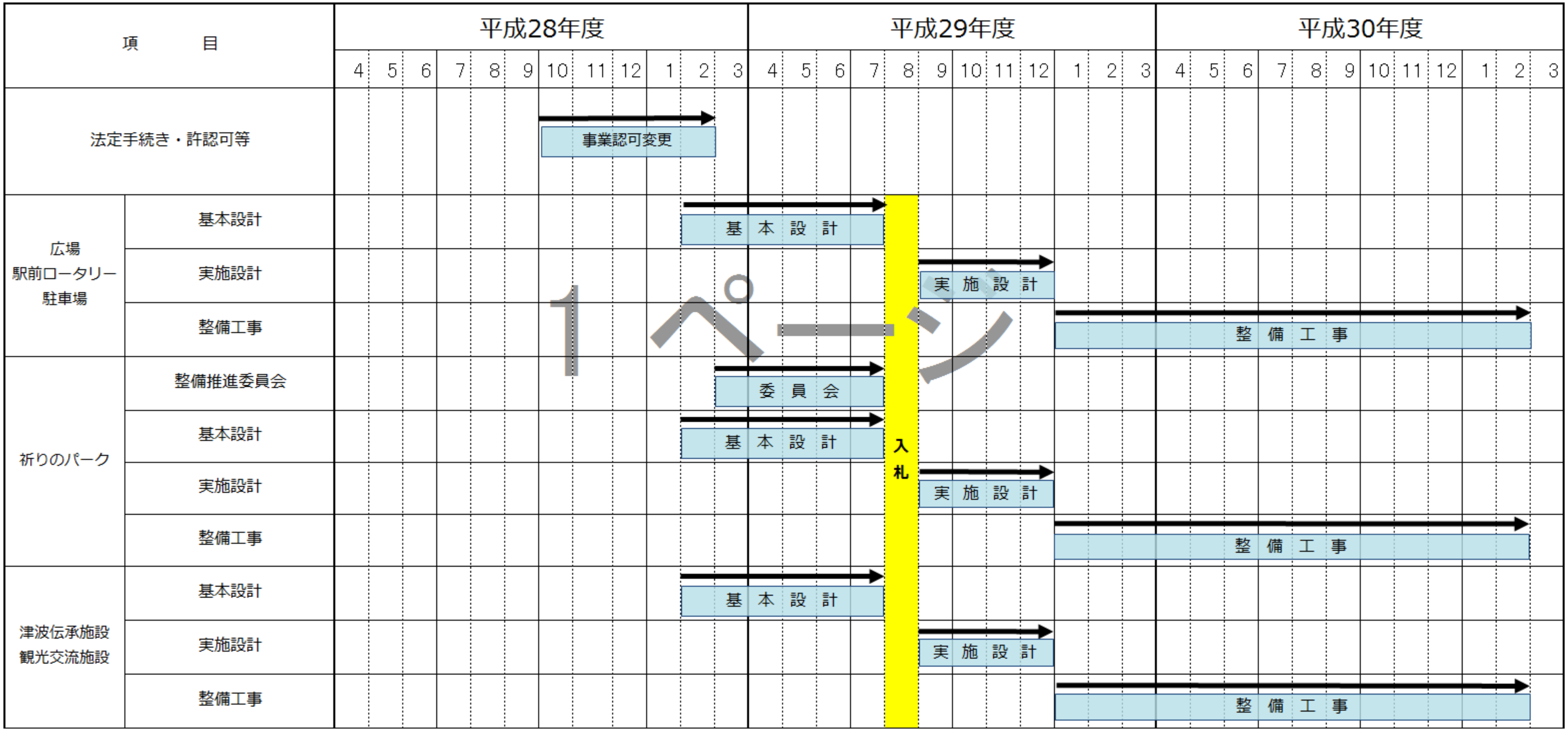
・国道45号や三陸沿岸道路利用者、鵜住居駅利用者等に対して、道路情報のほか、周辺の山や海等の自然資源や歴史・文化資源等の観光情報を提供

［観光トイレ（約41㎡）］

・本施設やメモリアルパークを訪れる人、鵜住居駅を利用する人たちが立ち寄って利用できるトイレ

男性用（大3個、小4個）
女性用6個
障がい者用1個

今後のスケジュール



項　目
平成28年度
平成29年度
平成30年度
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
法定手続き・許認可等
事業認可変更
広場
駅前ロータリー
駐車場
基本設計
実施設計
整備工事
基 本 設 計
実 施 設 計
整 備 工 事
祈りのパーク
整備推進委員会
基本設計
実施設計
整備工事
委 員 会
基 本 設 計
実 施 設 計
整 備 工 事
津波伝承施設
観光交流施設
基本設計
実施設計
整備工事
基 本 設 計
実 施 設 計
整 備 工 事
入札
１ページ

3.-⑤　市民体育館について

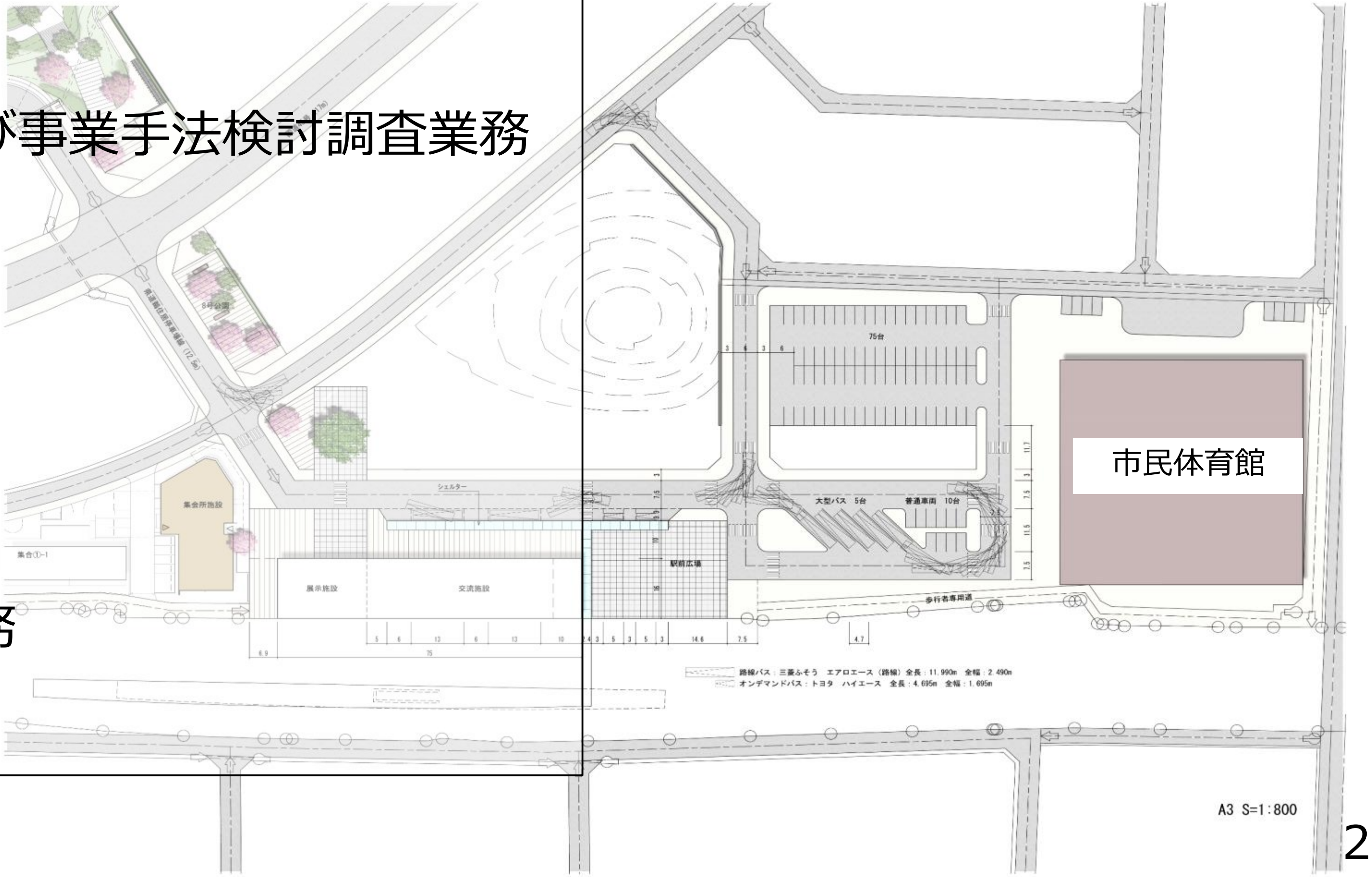
　鵜住居まちづくり拠点のスポーツ・健康交流ゾーンとして鵜住居駅前に整備し、競技スポーツほか、市民健康づくりの場、そして、追悼イベントや交流イベントにも対応し、隣接施設との相乗効果を発揮するものです。

●供用開始までのスケジュール案

平成29年度
　①基本計画作成及び事業手法検討調査業務
　②基本設計業務

平成30年度
　①詳細設計業務
　②建設施工業務

平成31年度
　①建設施工継続業務
　②供用開始予定



３.-⑥　鵜住居小学校・釜石東中学校について

鵜住居地区学校等建設工事

　地域の防災拠点としても機能する複合教育施設の現地再建プロジェクトで、被災した鵜住居児童館、鵜住居幼稚園、鵜住居小学校、釜石東中学校から構成されます。

　全体配置計画は、子どもたちの活動を通じて住民を勇気づけられるように考えられ、周辺の風景に溶け込みながらも、鵜住居の復興のシンボルとして力強い存在となるよう計画しました。

平成25年7月27日　第一回意見交換会

①設計経過
・平成25年　6月
　かまいし未来のまちプロジェクト第4号案件
　プロポーザル最終選考にて設計者選定
　　設計者：株式会社シーラカンスアンドアソシエイツ
・平成25年　7月　第一回意見交換会 (避難拠点施設)
・平成25年10月　第二回意見交換会 (地域開放施設)
・平成26年10月　設計報告説明会 (住民意見反映状況説明)

②施工者確保に向けた動き
（施工予定者選定方式（ECI）の導入）
・平成26年12月　プロポーザル最終選考にて施工予定者選定
　　施工予定者：大林組・熊谷組・東洋建設・元持特定共同企業体

③開校に向けたスケジュール
・平成27年 3月　実施設計完了
・平成27年 6月　工事請負契約締結
・平成27年 7月　建築工事着工
・平成29年 3月　建築工事竣工
・平成29年 4月　開校（予定）

配置図

【工事概要】

○契約金額

5,954,632千円

○契約工期

平成27年6月26日

～平成29年3月15日

○施設概要

・敷地面積

77,003㎡

・建物面積

小中学校校舎　9,418㎡

（鉄骨造４階建）

屋内運動場　1,062㎡

（鉄骨造）

児童館　323㎡

（鉄骨造）

幼稚園　586㎡

（木造平屋建）

防災備蓄倉庫　86㎡

・グラウンド

200mトラック　6コース

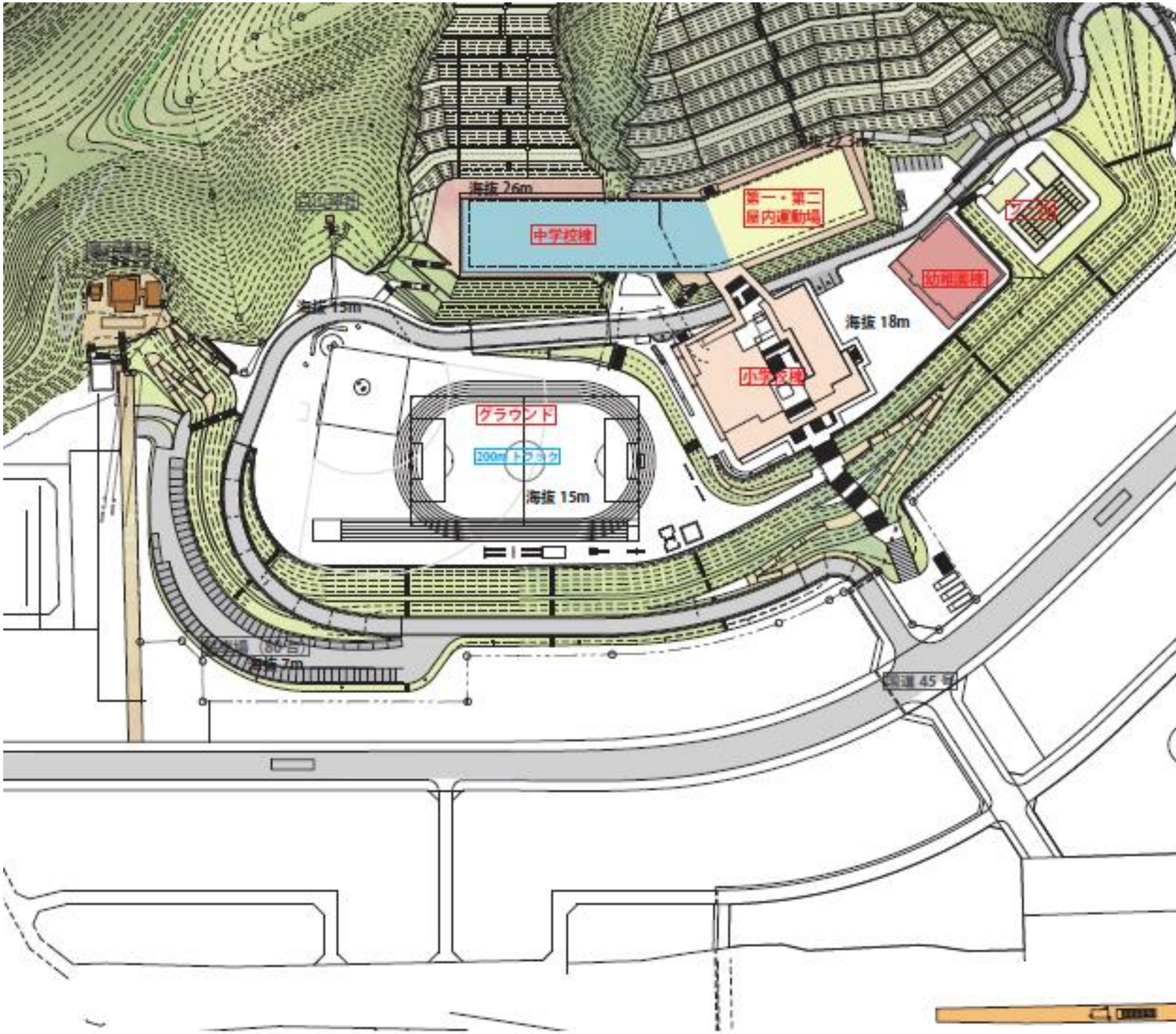
100mレーン　6コース

・プール施設

更衣室等付属施設

25m　6コース

小プール　10m×7.5m



鵜住居小学校・釜石東中学校建設状況

学校の特徴

１．造成量を極力抑え、工程管理を図った建設

２．高台敷地に計画し、地域の防災拠点としての安全性を確保

３．学校から鵜住居駅を結ぶ大階段を計画し、避難経路も兼ねた明快な動線計画

４．防災備蓄倉庫を校舎内に整備し、防災拠点機能を強化

５．平面的に広がる小学校棟と高台にある中学校棟とで構成されたどっしりとしたシンボリックな建物配置計画

４．意見交換